



ひな祭り一色 鴻巣自慢の イベント開催



2月17日～3月12日、鴻巣びっくりひな祭り2017が開催されました。31段高さ7mの「日本一高いピラミッドひな壇」が登場したメイン会場のエルミここのすショッピングモールをはじめ、各サテライト会場の魅力的なひな飾りなど目白押しの内容で、市内外から訪れた多くの皆さんが「ひな人形のまち鴻巣」を堪能しました。



▲オープニングセレモニー

ミス日本グランプリ2017に輝いた高田紫帆さんも参加し、イベントに華を添えました。



▲1つ1つ丁寧に飾り付け

鴻巣びっくりひな祭り実行委員会などボランティアの皆さんにより、多くの方楽しんでもらうよう、気持ちを込めて丁寧に飾り付けされました。



◀花久の里ひな祭り

ひな人形と花で飾る六角すい型ひな壇や、施設の雰囲気にマッチしたつるし籠が飾られました。写真は、東京オリンピック・パラリンピックに向け、中南米諸国の大使等が県内を視察した際の様子です。



▲吹上生涯学習センター

初めての会場で、鴻巣ひな人形協会による優美な展示が行われました。



▲ひなの里

県の景観重要建造物に指定されている蔵を活用した展示や、年表に沿った鴻巣びなの展示が行われました。



継承される文化財

不動堂（北新宿）には市指定文化財の不動尊像があります。高さ2.2mを誇るこの像は、1741年に建立されたもので、大日如来の化身として一切の魔性を降伏させるため忿怒相をしています。

写真（右）は、真言太鼓保存会による太鼓の鼓動と躍動する炎が印象的な護摩祈祷の様子です。不動尊像は、不動堂が開錠される催事のみ見ることができます。





～400年の時を超えて～ 鴻巣御殿模型が完成

1月29日、市役所本庁舎で「鴻巣御殿模型完成記念式典」を開催しました。多くの皆さんが参加し、市文化財保護委員の重田正夫さんらによる講演などにより鴻巣御殿について理解を深めました。

模型は、江戸図屏風に描かれたものと「鴻巣御殿目録」(1682年頃に作られた)を資料として、100分の1の大きさ(縦1.8m×横2.4m)で再現したものです。



鴻巣御殿は、徳川家康によって鷹狩や領内視察などの宿泊や休憩所として建てられました。その後、秀忠、家光の三代にわたって利用されましたが、1631年頃を最後として、以後使用されなくなり、1657年の江戸大火(明暦の大火)後は、その一部を解体して江戸に運ばれました。

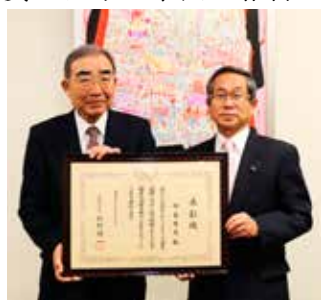
写真(上)は模型の一部で、式台前御門(御殿に入る正式な玄関前の門)、その奥が御広間(家臣の控え室や儀式的の場など、多目的に使う部屋)や御夜詰の間(将軍の警備を行う侍たちの控えの間)などです。この他にも、鷹部屋(鷹を飼育するための小屋)や御主殿(将軍が大名と対面する部屋)など、鴻巣御殿目録に記された37棟の建物を再現しています。

400年以上前に鴻巣に実在した鴻巣御殿を、まるでタイムスリップしたかのように楽しめるこの模型は、市役所本庁舎で展示(平日の8時30分～17時15分のみ)していますので、ぜひご覧ください。

スポーツの普及・発展に貢献

田島英夫さん(本町)が、文部科学省の生涯スポーツ功労者表彰を受賞し、原口市長に報告しました。

田島さんは、県と市のレクリエーション協会の役員等を務めており、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果を上げた功績が認められました。



保育園児と小学生が交流

2月17日、中央小学校の1年生が、学校に生田塚保育所の園児を招いて、学校行事について教えたり学校内を案内したりして交流を図りました。

交流を通して、園児たちは小学校の雰囲気を楽しみ、4月からの学校生活を楽しみにしていました。



おめでとうございます 高齢者叙勲受章者のご紹介

島田 重造さん
(栄町)

瑞宝双光章
教育功労
元鴻巣南小学校長



卓越した技能者を表彰

2月24日、卓越した技能で永く同一の職種に従事し、後進の育成等に貢献した技能者を表彰する「技能功労者表彰式」を行い、とび職の平賀祥吾さん(原馬室・写真右)と細村光雄さん(東・写真左)を表彰しました。

